

北池袋協和会会長の玉井自転車店主、玉井勝さんをお訪ねしました。この商店会は、前号でご紹介したふれあいロード北池袋商店街の一角を右に曲がり、マンション・シズナブにぬける、お風呂屋さんや池袋本町郵便局のある通りです。

ここはもともと、防犯の観点からみんなで街路灯をつけて「まちを明るくしよう」と1955年（昭和30年）ごろに結成された「電灯会」の流れを継いでおり、当時から商店だけでなく、その街路に面している民家も含まれています。現在、会員数は88軒で、物品販売やクリーニング屋さんや美容院など、業種はさまざまですが、軒先で営業しているのは2/3で、残りは住宅という構成です。

玉井さんは、以前の商店が並び、顔が見える良さを熱く語ってくださいましたが、あるとき突然シャッターが下り、1ヶ月後は閉店・廃業ですと、深刻な現実をあげられ、ご多分に瀧れず家内商店の一番の悩みは後継者不足と話されます。

そのようななかで、池袋本町の4つの商店会の取り組み「池袋本町商人まつり」の開催は、ここに住む若い人たちとも顔なじみになり、まちの商店の面白さや良さを感じて

もらう一つのきっかけになると、希望を寄せています。これは本当に顔が見える関係の一步になり、そうなれば、後継者もまちの人も一緒にまちづくりができるかもしれません。



しかし、いま全国各地で注目されている商店街の「シャッター通り」対策の試みは、撤去の時の問題などがあり、積極的に取り組んでいないようです。

また、最近再び浮上してきた「都道問題」については、近々みんなで話し合うことになっているようですが、これができたら池袋本町は「2つに分断されることは必至」と警鐘をならしながらも、これに賛成の意見もあることであり、賛成の人が多ければ、道路はできることになるとおっしゃいます。願わくは、商店街の問題も、まちづくりの全体ととしてとらえていきたいと感じる1時間でした。

(取材：舟久保、青山)

# 池袋本町 防災まちづくり ニュース no. 30

Ikebukuro Honcho Boza-Machi-zukuri News  
no. 30  
2003年8月16日発行

発行：池袋本町防災まちづくりの会  
豊島区住環境整備課  
問い合わせ先：住環境整備課  
TEL 03-3981-0489  
編集協力：(株)防災&都市づくり計画室

## どうなる防災ひろば

### 小中一貫校を検討中

前回の防災まちづくりニュースでお知らせしたように、豊島区では区内の公共施設の再配置計画を、4000㎡と2000㎡の防災ひろばの、学校用地への転用も含めて検討をしています。それに関連して6月30日の合同会で、区助役より6月の区議会第二定例会で二期目を迎えた区長が表明した、豊島区独自の教育施策についての報告がありました。

区長は区議会の所信表明の中で、学校の統合については現在行っている適正配置整備計画で終了すべきだとする考えを示しました。それは、特色ある学校づくりを積極的に進め通学する児童を増やすとともに、区内にとっても生涯学習、スポーツ、コミュニティの場である学校を拠点に地域活性化を図りたいとの考えからです。

一方、その特色ある学校づくりとして小中一貫校設置について検討していきたい考えも示しました。小中一貫校とは、これまでの学校の枠にとらわれずに、9年間をいくつかの単位に分けながら、多様な学習環境を整備しようというものです。検討対象として区長は議会答弁の中で隣接する学校が望ましいとして、池袋第二小学校、文成小学校及び池袋中学校をあげています。

教育委員会では6月に「21世紀の学校づくり懇話会」を設置しており、今後区長の要望も踏まえ、同懇話会で専門的かつ詳細な教育ビジョンの検討がなされます。小中一貫校はこれまで以上に大きな施設になります。そのため、敷地も今までの学校用地では不足しますので防災ひろばを含め検討することになります。

懇話会では10月頃に中間的な案を発表する予定となっています。今の段階では3つの学校と防災ひろばが

どのように活用されるかは判りません。しかし地区内の公共施設が大きく変化することになりそうです。

### 継続する防災まちづくり

区では、公共施設の再配置が行われても、防災まちづくりは継続し、ひろばなどの防災施設も地区内のどこかに、同規模で確保することを約束しています。防災生活圏促進事業がこの地区で行われてから7年、厳しい財政状況により施設整備がなかなか進まないとは言え、まちづくりの会やひろばの会の努力によって、地区の防災まちづくりは確実に進展しています。今回の防災ひろばの計画変更は、これまで行ってきたひろばの検討を後退させることにもなりません。しかし、これによって、これまで以上に安全で安心なまちの実現を希望し、流れを見守りたいと思います。

## 防災ひろば見まもり隊 かぎの会 会員募集

かぎの会とは、区と協働して、防災ひろばの鍵の開け閉めを行い、ひろばの様子を見守っている会です。

ひろばの会では、防災ひろばをより親しみやすく使いやすくするため、ひろばを見守っていただける方を募集しています。鍵の開閉は各自の都合のよい時間を調整しながらやっています。ですから負担の少ない時間にお手伝いいただければけっこうです。

かぎの会はひろばの会に所属しています。かぎの会にご参加いただく場合は、できればひろばの会にもご参加いただきたいと思います。しかし、それがご負担に感じられる方は、かぎの会を通してご意見やご希望を寄せていただくだけでもけっこうです。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

豊島区住環境整備課 電話03-3981-0489

### サバイバル・ワンポイント講座 その

## 命を救う②

命を救うシリーズの2回目は心肺蘇生法です。消防署では、平成14年4月から新しい心肺蘇生法をご紹介しています。今までの方法に比べて、より簡単にわかりやすくなっています。今回はその中の人工呼吸法についてお知らせします。なお、この救命救命法は、池袋防災館で訓練を受けることができます。

#### 1 肩を叩きながら声をかける

返事があれば安心することばをかける。



#### 2 返事がなかったら

大きな声で協力を求める。



#### 3 呼吸をしやすくする

あご先を引き上げ頭をうしろにそらせる。



#### 4 呼吸の有無を調べる

ほおを相手の口と鼻に近づける。吐く息がほおに感じるか、呼吸音がかかってくるか、また同時に胸と腹が動くかを10秒以内でみる。



#### 5 呼吸がなかったらすぐ人工呼吸

鼻をつまむ。静かに2回息を吹き込む。1回の吹き込み時間は2秒とする。



東京消防庁パンフレットより転載

## 合同防災訓練

今年の合同防災訓練は、各地域の地域本部となっている学校で、対象町会にお集まりいただいで行います。

日時：8月31日（日）8：30～12：00  
場所：文成小学校（第11地域本部）  
対象町会：四丁目町会、親和町会

### つれづれに一言

池袋本町のまちづくりが揺れ動いています。プレバークの提案にはじまり、防災ひろば用地を含めて公共施設の見直しを行うことが発表されました。これまで数年にわたって検討し提案したひろばの計画も白紙にもどされてしまいました。

まちづくりは、いろいろな施設の整備とそれを支え運営する人々の気持ちの両輪が牽引するものだと思っています。その両方もが、揺れ動いているのです。

区では、「今の防災ひろばの場所、所、なくならないが、必ず整備する」と言っています。しかし、替わりを用意すればそれで事足りる訳ではありません。これまで、地域の防災を真剣に考え、ひろばの整備に希望を持って活動してきた多くの人の気持ちが離れようとしていくのです。

人の気持ちは風船と一緒に飛んでいってしまいます。どうしたらもう一度気持ちを引き止められるのか。本町の防災まちづくりは大きな岐路にさしかかっています。（小島建之）